

インフルエンザの発生状況(富山県)

【第 19 週(2025/5/5~5/11) 感染症発生動向調査速報値 (2025/5/14 時点)】

定点医療機関※新規患者報告数： **24** 人、定点医療機関当たり **0.50** 人

※急性呼吸器感染症定点 (旧インフルエンザ/COVID-19定点、小児科29定点、内科19定点)

(人/定点)

図1. 患者報告数の推移(富山県)

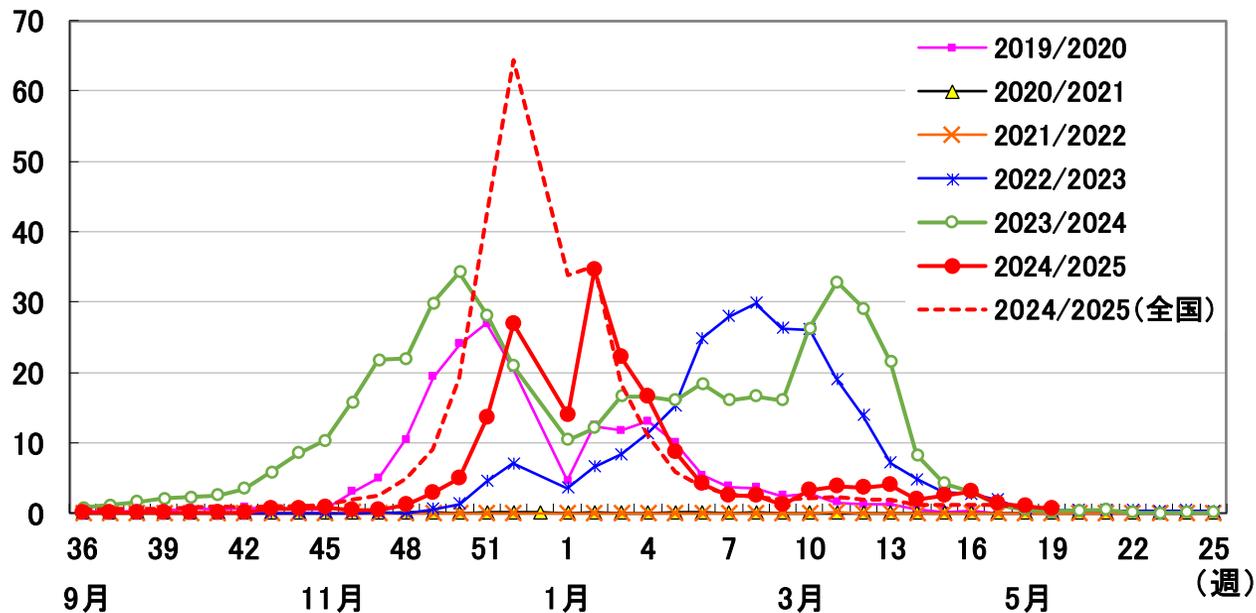
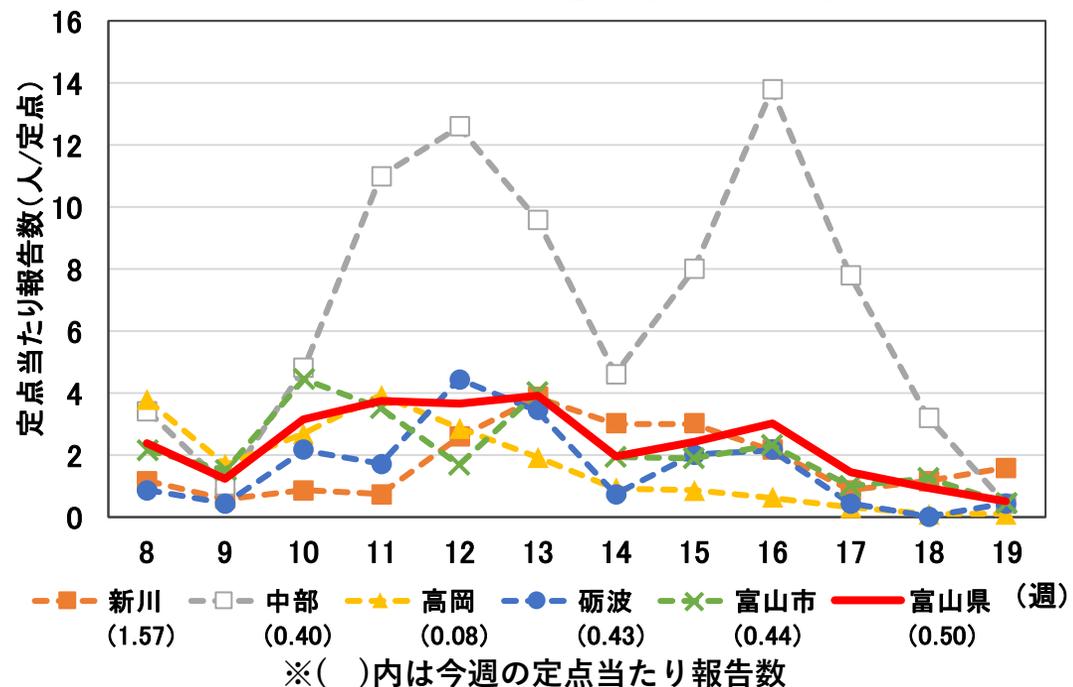
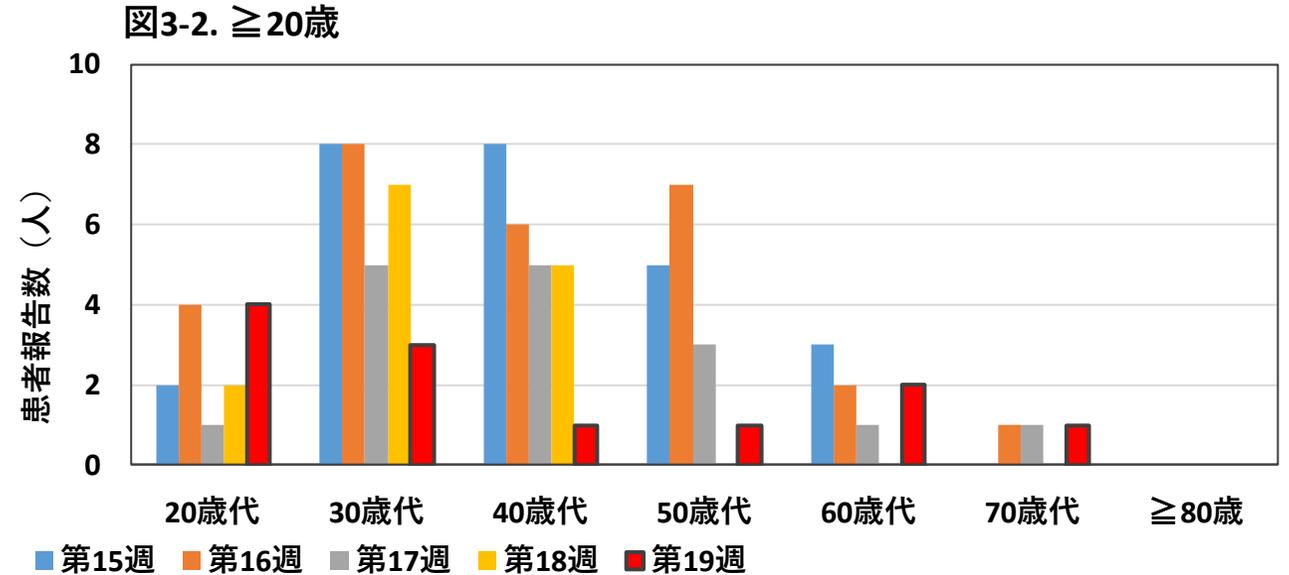
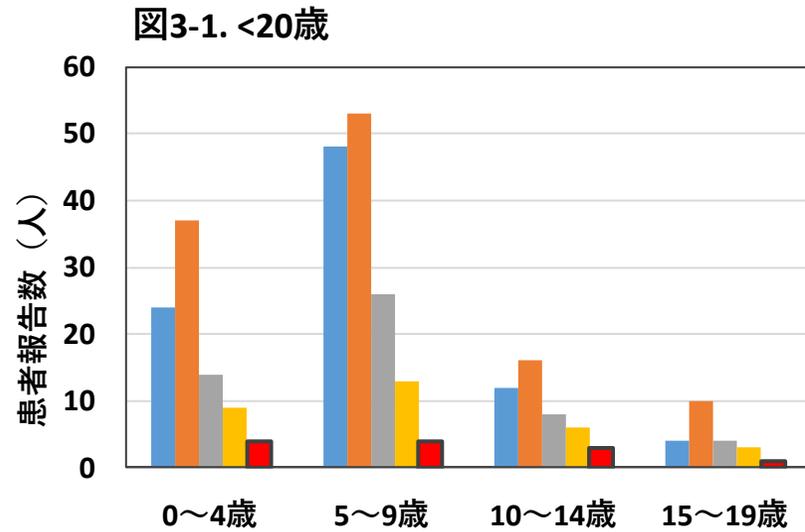


図2. 厚生センター・保健所別患者報告数



- 富山県の患者報告数 (図1) は今週0.50人/定点となり、先週 (0.94人/定点) から減少した。
- 厚生センター・保健所管内別に見ると (図2)、新川、砺波管内では先週からやや増加したが、その他の管内では先週から減少した。

図3. 年齢階級別インフルエンザ報告数の推移（富山県）



※定点医療機関は小児科が多い（小児科：29定点、内科：19定点）ことから、小児の報告数は成人と比較して過大評価となることに留意する必要がある。

- 20歳代、50～70歳代で先週から増加したが、その他の年代では減少または横ばいであった。

図4. 都道府県別インフルエンザ報告状況(第18週)

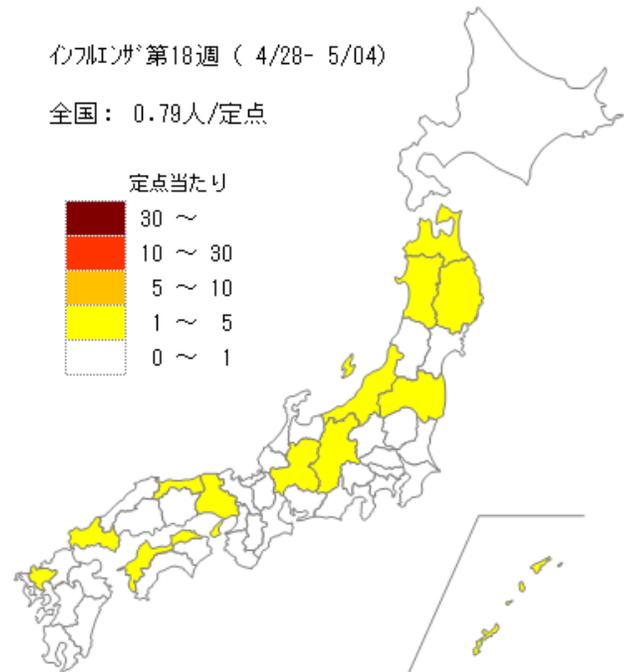
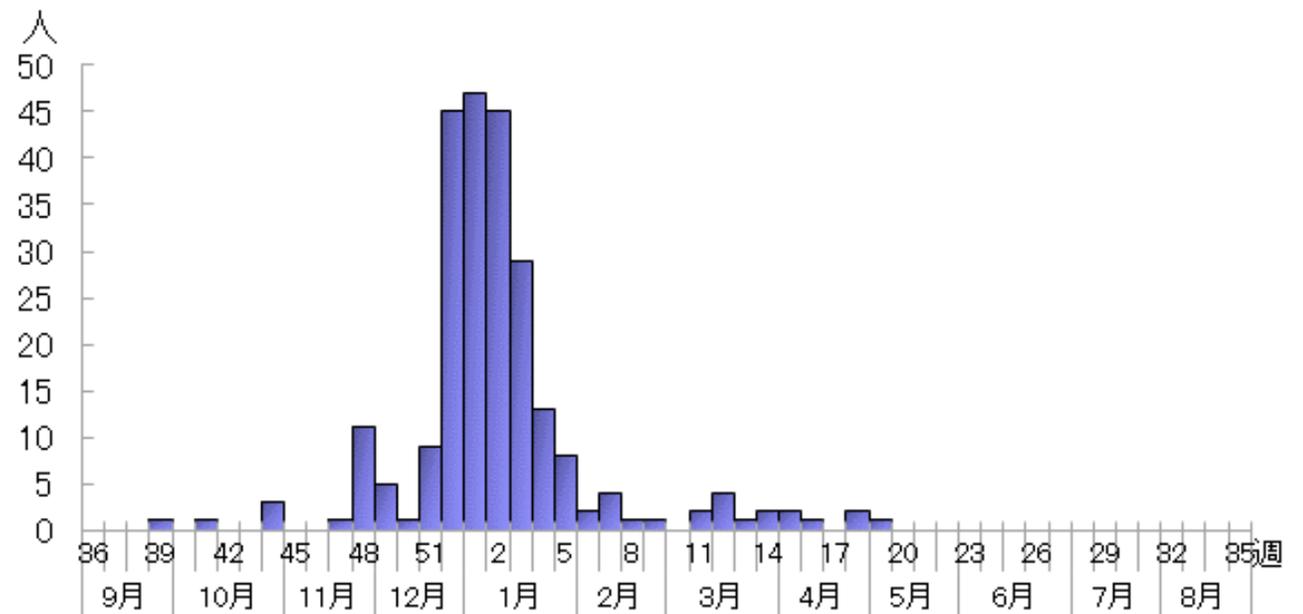


図5. インフルエンザ入院患者報告数(第19週)



- 全国では第18週に0.79人/定点となり、第17週 (1.09) から減少した。都道府県別 (図4) では、33都道府県で流行入りの目安である1人/定点を下回った。
- 県内5か所の基幹定点医療機関を対象に実施するインフルエンザ入院サーベイランス (図5) では、今週1例 (80歳以上) の報告があった。
- 第19週はインフルエンザ様疾患による学級閉鎖の報告はなかった ([富山県インフルエンザ関連情報](#)) 。
- 県内の定点医療機関の患者報告数は減少が継続し、先週流行入りの目安である1人/定点を下回った。一方、先週から今週にかけて、GWにより定点医療機関の診療日数が少なく、流行を過小評価している可能性があり、引き続き発生動向を注視したい。